

令和5年度 事業報告書

1. 助成事業

令和5年度の助成事業は、研究活動費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額2,640万円を実施しました。令和5年度公募の概況は、以下の通りです。

(1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、2023年3月1日から3月31日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、93件の応募があり、選考委員会において、以下の65件の研究に対して助成を行うことを決定し、2,450万円の助成を実施しました。

- | | | |
|----|---|-------|
| 1 | 成体腎臓幹細胞由来の腎臓オルガノイドを用いた新たな薬剤評価法の樹立
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 助教 辻 憲二 | 600千円 |
| 2 | Osteopontin を標的としたAL心アミロイドーシス治療法の開発
岡山大学病院 循環器内科 特任助教 斎藤 幸弘 | 500千円 |
| 3 | 深海に潜む超高感度光受容タンパク質の探索と深部オプトジェネティクスへの展開
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 助教 小島 慧一 | 300千円 |
| 4 | pre-miR-664a と腫瘍特異性を持ったペプチドを組み合わせることで高効率な細胞死誘導を可能とする光温熱剤の開発
岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 助教 渡邊 和則 | 400千円 |
| 5 | 抗体産生を増強する因子探索によるワクチン強化技術への展開
岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 助教 曲 正樹 | 450千円 |
| 6 | 円偏光発光材料を志向した高次アザヘリセンの開発
岡山大学学術研究院 自然科学学域 助教 前田 千尋 | 450千円 |
| 7 | 不整地未知環境における自律型ロボットののための自己増殖型ニューラルネットワークに基づく環境適応型空間知覚システム
岡山大学学術研究院 自然科学学域 助教 戸田 雄一郎 | 430千円 |
| 8 | 数値解析を用いた斐伊川放水路の沈砂池における土砂堆積特性に関する検討【特定研究分野A】
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 赤穂 良輔 | 800千円 |
| 9 | 緊急対策外来種アメリカザリガニの防除による生物多様性回復の評価
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 教授 中田 和義 | 350千円 |
| 10 | 旭川中原橋での洪水流量観測の高度化に向けた、流量更正係数と河道条件整備に関する研究【特定研究分野A】
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 吉田 圭介 | 800千円 |
| 11 | 権利関係を重要視した建築都市空間計画の将来性に関する研究
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 堀 裕典 | 450千円 |
| 12 | ミトコンドリア呼吸鎖に着目した抗マツノザイセンチュウ薬剤の開発
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 泉 実 | 400千円 |
| 13 | 植物の他感作用による自家中毒とその緩和機構
岡山大学学術研究院 自然科学学域 准教授 三村 真紀子 | 400千円 |
| 14 | 体内時計の記憶とその制御
岡山大学学術研究院 自然科学学域 教授 吉井 大志 | 400千円 |
| 15 | オキシトシン放出を促す膜タンパク質 (CD38/TPC) の細胞内局在とその膜トポロジー動態の解明
岡山大学学術研究院 自然科学学域 准教授 坂本 浩隆 | 400千円 |

- 16 生物活性物質の短段階合成を指向した光触媒によるシクロブタン環の合成
岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教 田中 健太 450 千円
- 17 有機材料と機能性酸化物薄膜を組み合わせたハイブリッド電界効果トランジスタの創製
岡山大学 異分野基礎科学研究所 講師 江口 律子 400 千円
- 18 実際の現象を確率的に考える能力の育成を目指した学校数学の確率の授業デザイン [※その他分野]
岡山大学学術研究院 教育学域 助教 石橋 一昂 150 千円
- 19 がん患者の療養支援に向けた中小規模施設における看護師長のパフォーマンスに関する研究 [※その他分野]
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 名越 恵美 150 千円
- 20 看護学生の主体的学習を支援する教材システム構築のための基礎的研究 [※その他分野]
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 佐藤 美恵 300 千円
- 21 Wi-Fi センシングによる物体探索のための基礎的検討
岡山県立大学 情報工学部 助教 坂口 浩一郎 310 千円
- 22 人とロボットの瞬時接触動作のためのハイタッチロボットの開発
岡山県立大学 情報工学部 助教 太田 俊介 310 千円
- 23 クロノタイプを考慮した若年女性の生活習慣と骨格筋指数との関係
岡山県立大学 情報工学部 准教授 大下 和茂 310 千円
- 24 オンライン会議システムにおける身体引き込みエージェントの研究開発
岡山県立大学 情報工学部 准教授 石井 裕 310 千円
- 25 2 人对戦 AI の深層強化学習の研究
岡山県立大学 情報工学部 助教 芝 世弐 310 千円
- 26 ストレス可視化を鑑みた指尖生体情報解析技術に関する研究
岡山県立大学 情報工学部 教授 綾部 誠也 310 千円
- 27 小都市の文化芸術向上に向けた大学と美術館の連携・工芸デザイン展開の研究
岡山県立大学 デザイン学部 准教授 渡邊 操 310 千円
- 28 閑谷学校の水利技術と学びの場について－閑谷学校の環境技術に関する研究－
岡山県立大学 デザイン学部 教授 向山 徹 270 千円
- 29 水を溶媒としたハロゲンフリーで低環境負荷な難燃性リグノセルロースナノファイバーの開発
岡山理科大学 理学部 准教授 大坂 昇 400 千円
- 30 間期細胞核における DNA トポイソメラーゼ II α と β の核小体-核質間シャトリングの分子メカニズムの解析
岡山理科大学 理学部 講師 河野 真二 500 千円
- 31 新規の脾 B 細胞再生モデルマウスの開発
岡山理科大学 理学部 教授 木場 崇剛 300 千円
- 32 熱間加工を利用した傾斜機能性材料の開発
岡山理科大学 工学部 講師 竹村 明洋 500 千円
- 33 免荷型空気式パワーアシスト装置を用いた歩行リハビリ支援システムと人間の動きを考慮した制御手法の開発
岡山理科大学 工学部 助教 横田 雅司 300 千円
- 34 家庭で使える低コスト流体駆動ソフトメカニズムを支える流体制御機器の開発
岡山理科大学 工学部 教授 赤木 徹也 500 千円
- 35 人への利用を事前検証できる中小型動物用褥瘡防止体位変換マットの開発
岡山理科大学 工学部 准教授 趙 菲菲 400 千円
- 36 雲海現象の A I 予報の開発 -予報精度と有効性の評価-
岡山理科大学 生物地球学部 教授 大橋 唯太 400 千円
- 37 白亜紀の生態系激変期における恐竜群集動態の変遷解明－足跡化石をもとにしたアプローチ－
岡山理科大学 研究・社会連携機構 特担教授 石垣 忍 340 千円
- 38 鬼と日本人 -<鉄>をめぐる吉備王国の謎- [※その他分野]
岡山理科大学 教育学部 教授 萩原 桂子 200 千円

39	ビスシロル化反応を利用したシロール誘導体の合成とその性質 倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 仲 章伸	260 千円
40	慢性ストレスがきたすうつ様行動の原因となる神経核、K ⁺ チャネルの解明 倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 岡田 誠剛	200 千円
41	避難行動促進を阻害する認知バイアスは模擬避難所訓練で修正されるのか？-脳波を用いた生理心理学的検討-【特定研究分野 A】 吉備国際大学 心理学部 准教授 橋本 翠	950 千円
42	ニューラルオペラント条件付けによるインターネット依存の緩和システムの構築 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 森 理也	300 千円
43	植物プロテアソームシャペロン PBAC5 の構造と機能の解析 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 高木 賢治	500 千円
44	成体で全能性幹細胞を健全に維持する機構の解明 津山工業高等専門学校 総合理工学科 教授 柴田 典人	500 千円
45	モモの効率的形質転換技術の開発 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 田村 勝徳	300 千円
46	モモせん孔細菌病抵抗性に関与する遺伝子マーカー探索 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 嘉美 千歳	400 千円
47	劣化による種子品質及びその後の成長への影響の解明 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 望月 智史	260 千円
48	環状分子におけるキラル内孔空間構築に基づく機能開拓 就実大学 薬学部 講師 山本 浩司	500 千円
49	岡山県市区町村におけるコロナ禍での災害対策の現状【特定研究分野 A】 就実大学 薬学部 助教 吉井 圭佑	250 千円
50	心理実習体験を用いた学生の認知的柔軟性と精神的回復力を育むプログラムの開発と効果検証 [※その他分野] 就実大学 教育学部 准教授 永田 忍	250 千円
51	大学生の推奨身体活動充足状況と生活習慣・健康度～コロナ禍前後の生活様式の違いに着目して～ 就実大学 教育学部 准教授 森村 和浩	160 千円
52	抗肺腺癌化分子としての脂質メディエーター分解酵素の発工学的研究 川崎医科大学 薬理学 教授 岡本 安雄	300 千円
53	海馬神経回路のシナプス形成と維持を制御する分子機構の解明 川崎医科大学 解剖学 准教授 林 周一	300 千円
54	癌関連線維芽細胞の膜タンパク質を標的としたリンパ節転移阻害薬の開発 川崎医科大学 産婦人科学 2 准教授 村田 卓也	200 千円
55	特異的蛍光プローブの開発による抗肥満脂質代謝酵素群の包括的解析 川崎医科大学 薬理学 准教授 坪井 一人	300 千円
56	全身性強皮症の皮膚硬化におけるエピジェネティクス異常誘導機構の解明 川崎医科大学 リウマチ・膠原病学 講師 浅野 澄恵	300 千円
57	QGIS を用いた小田川上流地域の空間データ分析【特定研究分野 A】 岡山商科大学 経営学部 講師 藤本 宏美	200 千円
58	地方から転出する若者のキャリア・パースペクティブモデルの作成 [※その他分野] 山陽学園大学 総合人間学部 准教授 松浦 美晴	150 千円
59	タカキビ成分による米粉澱粉とジャガイモ澱粉での消化抑制機構の違い 山陽学園短期大学 健康栄養学科 教授 廣田 幸子	400 千円
60	学生が協働制作する壁面構成を介して地域の子どもを中心とした鑑賞者の社会的相互行為を形成する芸術実践研究 [※その他分野] 山陽学園短期大学 こども育成学科 講師 大平 修也	300 千円
61	アフターコロナにおけるフィットネス事業者のニューノーマル（新たな常態）な事業戦略に関する研究 [※その他分野] 中国学園大学 国際教養学部 准教授 佐々木 公之	300 千円

62	鬼ごっこを用いた短時間の運動プログラムが運動能力および非認知能力に及ぼす影響 [※その他分野]	環太平洋大学 体育学部 助教 田中 耕作	200 千円
63	爪郭部毛細血管形態を指標とした簡易的な筋質評価法の開発	岡山医療専門職大学 健康科学部 助教 田中 雅侑	500 千円
64	児島虎次郎 油彩作品研究【特定研究分野B】	公益財団法人大原美術館 学芸部門 学術統括 柳沢 秀行	1,000 千円
65	遺伝性腎疾患原因遺伝子 <i>PKD2</i> の機能解明と治療薬開発への応用	重井医学研究所 細胞制御部門 主任研究員 古家野 孝行	360 千円

(2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、2023年3月1日から3月31日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、8名の応募があり、以下の5名の研究者に対して100万円の助成を実施しました。

1	244th ECS Meeting に参加、研究発表（招待講演）	岡山大学学術研究院 自然科学学域 助教 佐藤 英祐	250 千円
2	世界最大の微生物学会の総会「ASM microb2023」で発表	就実大学 薬学部 講師 山田 陽一	200 千円
3	第28回ヨーロッパスポーツ科学会議への参加・発表・情報収集	川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教 川島 将人	200 千円
4	国際会議（IEEE ETFA2023）に出席、研究発表	川崎医療福祉大学 医療技術学部 教授 矢納 陽	150 千円
5	国際看護師協議会（ICN）2023 congress に参加、研究発表及び情報収集	山陽学園大 看護学部 准教授 石橋 昭子	200 千円

(3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、2022年9月15日から10月31日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、1名の応募があり、選考委員会において、以下の研究者に対して助成を行うことを決定し、90万円の助成を実施しました。

1	Exosome の誘電特性を用いた炎症性疾患の診断・分子基盤の解明《シンシナティ小児病院》	岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 医員 山口 哲志	900 千円
---	---	------------------------------	--------

2. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

令和5年度は、10件の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の2名に決定しました。

山内 明 (川崎医科大学 生化学教室 教授)

【研究題目】「新しい細胞動態評価法でスクリーニングした抗腫瘍薬の応用」

：平成30年度、令和元年度・2年度研究活動費助成事業

【審査評価】研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

千住 洋介 (岡山大学 異分野基礎科学研究所 研究准教授)

【研究題目】「アスガルド古細菌から紐解く細胞形態の制御機構の分子進化」

：令和2年度研究活動費助成事業

【審査評価】研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

令和5年度優秀研究者賞受賞者の表彰式は、2024年6月6日に開催され、表彰状と副賞(研究奨励金30万円)が贈呈されます。

また、令和5年度の事業費として実施された「令和4年度優秀研究者表彰事業」は、2名の受賞者に対して表彰状と副賞を贈呈し、662千円を支出しました。

3. 研究者交流事業

定款第4条第1項第6号に掲げる事業は、次のとおり総額1,802千円を実施しました。

(1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、優秀研究者表彰式開催後と研究発表会開催後に開催されます。しかし、優秀研究者表彰式(2023年6月1日)開催後は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止しました。研究発表会(2024年1月30日)開催後は、ANAクラウンプラザホテル岡山にて立食パーティー形式の交流会を開催しました。終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、780千円を支出しました。

(2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。令和5年度は、2024年1月30日にANAクラウンプラザホテル岡山で開催しました。当日は80名が受講し、研究内容について様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の4名で、事業費としては、192千円を支出しました。

1 (令和4年度学術研究費助成)

「海馬神経回路のシナプス形成を制御する分子機構の解明」

川崎医科大学 解剖学 准教授 林 周一

2 (令和4年度学術研究費助成)

「ロボット義足開発におけるばね締緩装置の回転伝達機構部製作および動作検証」

津山工業高等専門学校 総合理工学科 講師 野中 摂護

- 3 (令和4年度学術研究費助成)
「マスク着用下における様々な条件での歩行が歩容および注意に及ぼす影響」
岡山県立大学 情報工学部 准教授 大下 和茂
- 4 (令和4年度長期間海外派遣滞在費助成)
「海外派遣滞在研究者の報告」
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 助教 中村 俊之

(3) 事業報告書の作成

令和5年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書110部を作成しました。尚、この事業報告書の作成費は令和6年度予算により実施されます。

また、令和5年度の事業費として実施された「令和4年度事業報告書」作成費は、829千円となります。

4. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

理 事

(2024年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 会長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	中国学園大学 学長	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 名誉教授	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
理 事	那須 保友	非常勤	無	岡山大学 学長	
常務理事	山室 正人	非常勤	無	株式会社ウエスコ 取締役管理本部長	

監 事

(2024年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士事務所	
監 事	中村 洋文	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部 経理部長	

評 議 員

(2024年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	中国職業能力開発大学校 校長	
評議員	高橋 吉孝	非常勤	無	岡山県立大学 保健福祉学部 教授	
評議員	山本 総一	非常勤	無	株式会社中国銀行 取締役常務執行役員	
評議員	北村 彰秀	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	

(2) 職員に関する事項

(2024年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	島田 泰宏	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	

(3) 役員会等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	2023年5月12日	・第1回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第2回	2023年6月1日	・令和4年度事業報告及び付属明細書の承認の件 ・令和4年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・第2回評議員会開催の件 ・選考委員9名選任の件 ・銀行借入額決定の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 ・令和5年度助成者決定の報告の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
第3回	2023年6月23日	・理事長及び常務理事選任の件	書面で同意を得た
第4回	2023年10月16日	・株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	書面で同意を得た
第5回	2023年12月11日	・第3回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第6回	2024年1月30日	・令和6年度事業計画承認の件 ・令和6年度収支予算承認の件 ・特定資産取崩しの件 ・銀行借入の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した

②評議員会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	2023年6月1日	・理事会第1号議案「令和4年度事業報告及び付属明細書報告の件」 ・理事会第2号議案「令和4年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件」 ・銀行借入額決定の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 ・令和5年度助成者決定の報告の件	事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
第2回	2023年6月16日	・令和4年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・評議員1名の選任の件 ・理事6名の選任の件	書面で同意を得た
第3回	2024年1月30日	・令和6年度事業計画承認の件 ・令和6年度収支予算承認の件 ・特定資産取崩しの件 ・銀行借入の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄附金に関する事項

該当なし

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

5. 事業報告書の附属明細書

2024年3月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の附属明細書に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

2024年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (2024/3/31)	前 年 度 (2023/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,814,911	6,836,079	978,832
流動資産合計	7,814,911	6,836,079	978,832
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	1,240,057,000	988,111,000	251,946,000
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	1,260,057,000	1,008,111,000	251,946,000
(2)特定資産			
公益目的事業積立預金	21,300,000	18,900,000	2,400,000
特定資産合計	21,300,000	18,900,000	2,400,000
(3)その他固定資産			
什器備品	1	9,829	△ 9,828
その他固定資産合計	1	9,829	△ 9,828
固定資産合計	1,281,357,001	1,027,020,829	254,336,172
資産合計	1,289,171,912	1,033,856,908	255,315,004
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	91,300	105,600	△ 14,300
流動負債合計	91,300	105,600	△ 14,300
負債合計	91,300	105,600	△ 14,300
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	1,210,000,000	958,000,000	252,000,000
投資有価証券	30,057,000	30,111,000	△ 54,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産運用益	21,300,000	18,900,000	2,400,000
指定正味財産合計	1,281,357,000	1,027,011,000	254,346,000
(うち基本財産への充当額)	1,260,057,000	1,008,111,000	251,946,000
(うち特定資産への充当額)	21,300,000	18,900,000	2,400,000
2. 一般正味財産	7,723,612	6,740,308	983,304
正味財産合計	1,289,080,612	1,033,751,308	255,329,304
負債及び正味財産合計	1,289,171,912	1,033,856,908	255,315,004

正味財産増減計算書

2023年4月1日 から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (2023.4.1-2024.3.31)	昨年度 (2022.4.1-2023.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	607,326	609,000	△ 1,674
基本財産受取利息	432	408	24
基本財産運用益取崩額	18,900,000	17,500,000	1,400,000
基本財産受取配当金振替額	10,700,000	13,100,000	△ 2,400,000
基本財産運用益計	30,207,758	31,209,408	△ 1,001,650
② 受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金計	0	0	0
③ 雑収益			
事業費返金	900,000	170,000	730,000
雑収益計	900,000	170,000	730,000
経常収益計	31,107,758	31,379,408	△ 271,650
(2) 経常費用			
① 事業費			
支払助成金	26,400,000	28,020,000	△ 1,620,000
表彰事業	662,700	656,100	6,600
会議費	973,169	0	973,169
印刷費	829,455	620,578	208,877
消耗品費	59,499	23,925	35,574
旅費交通費	3,000	0	3,000
通信費	160,652	203,862	△ 43,210
事務委託費	384,000	384,000	0
家賃	96,000	96,000	0
減価償却費	9,337	15,561	△ 6,224
事業費計	29,577,812	30,020,026	△ 442,214
② 管理費			
会議費	84,880	41,650	43,230
事務手数料	43,467	45,843	△ 2,376
旅費交通費	61,010	7,860	53,150
通信費	3,740	0	3,740
雑費	200,000	0	200,000
租税公課	480	480	0
事務委託費	96,000	96,000	0
家賃	24,000	24,000	0
減価償却費	491	819	△ 328
支払利息	32,574	30,223	2,351
管理費計	546,642	246,875	299,767
経常費用計	30,124,454	30,266,901	△ 142,447
当期経常増減額	983,304	1,112,507	△ 129,203
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	983,304	1,112,507	△ 129,203
当期一般正味財産増減額	983,304	1,112,507	△ 129,203
一般正味財産期首残高	6,740,308	5,627,801	1,112,507
一般正味財産期末残高	7,723,612	6,740,308	983,304
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産評価益	251,946,000	35,784,000	216,162,000
基本財産評価損	0	0	0
基本財産受取配当金	32,000,000	32,000,000	0
一般正味財産への振替額	△ 29,600,000	△ 30,600,000	1,000,000
当期指定正味財産増減額	254,346,000	37,184,000	217,162,000
指定正味財産期首残高	1,027,011,000	989,827,000	37,184,000
指定正味財産期末残高	1,281,357,000	1,027,011,000	254,346,000
III 正味財産期末残高	1,289,080,612	1,033,751,308	255,329,304

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日 から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和5年度(2023.4.1-2024.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	576,960	30,366		607,326
基本財産受取利息	432	0		432
基本財産運用益取崩額	18,900,000	0		18,900,000
基本財産受取配当金振替額	9,100,000	1,600,000		10,700,000
基本財産運用益計	28,577,392	1,630,366		30,207,758
② 受取寄附金				
受取寄附金	0	0		0
受取寄附金計	0	0		0
③ 雑収益				
事業費返金	900,000	0		900,000
有価証券品質料	0	0		0
雑収益計	900,000	0		900,000
経常収益計	29,477,392	1,630,366		31,107,758
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	26,400,000			26,400,000
表彰事業	662,700			662,700
会議費	973,169			973,169
印刷費	829,455			829,455
消耗品費	59,499			59,499
旅費交通費	3,000			3,000
通信費	160,652			160,652
事務委託費	384,000			384,000
家賃	96,000			96,000
減価償却費	9,337			9,337
事業費計	29,577,812	0		29,577,812
② 管理費				0
会議費		84,880		84,880
事務手数料		43,467		43,467
旅費交通費		61,010		61,010
通信費		3,740		3,740
雑費		200,000		200,000
租税公課		480		480
事務委託費		96,000		96,000
家賃		24,000		24,000
減価償却費		491		491
支払利息		32,574		32,574
管理費計	0	546,642		546,642
経常費用計	29,577,812	546,642		30,124,454
当期経常増減額	△ 100,420	1,083,724		983,304
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替額	3,000,000	△ 3,000,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	2,899,580	△ 1,916,276		983,304
当期一般正味財産増減額	2,899,580	△ 1,916,276		983,304
一般正味財産期首残高	3,929,243	2,811,065		6,740,308
一般正味財産期末残高	6,828,823	894,789		7,723,612
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産評価益	239,348,700	12,597,300		251,946,000
基本財産評価損	0	0		0
基本財産受取配当金	30,400,000	1,600,000		32,000,000
一般正味財産への振替額	△ 28,000,000	△ 1,600,000		△ 29,600,000
当期指定正味財産増減額	241,748,700	12,597,300		254,346,000
指定正味財産期首残高	976,586,475	50,424,525		1,027,011,000
指定正味財産期末残高	1,218,335,175	63,021,825		1,281,357,000
III 正味財産期末残高	1,225,163,998	63,916,614		1,289,080,612

財務諸表に対する注記

2023年4月1日 から2024年3月31日まで

1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

定率法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	988,111,000	281,946,000	30,000,000	1,240,057,000
小計	1,008,111,000	281,946,000	30,000,000	1,260,057,000
特定資産				
公益目的事業積立預金	18,900,000	21,300,000	18,900,000	21,300,000
小計	18,900,000	21,300,000	18,900,000	21,300,000
合計	1,027,011,000	303,246,000	48,900,000	1,281,357,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価損益）と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	1,240,057,000	1,240,057,000	0	0
小計	1,260,057,000	1,260,057,000	0	0
特定資産				
公益目的事業積立預金	21,300,000	21,300,000	0	0
小計	21,300,000	21,300,000	0	0
合計	1,281,357,000	1,281,357,000	0	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
PC一式	208,041	208,040	1
合計	208,041	208,040	1

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益取崩額へ充当	18,900,000
基本財産受取配当金振替額へ充当	9,100,000
管理費充当額	1,600,000
合計	29,600,000

7. その他

該当はありません。

財産目録

2024年 3月 31日 現在

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産				
	現金預金	普通預金 山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	24
		普通預金 中国銀行/奉還町支店	"	565,695
		普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	"	7,249,192
現金預金合計				7,814,911
流動資産合計				7,814,911
2. 固定資産				
基本財産	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。	30,057,000
	普通預金	中国銀行/奉還町支店	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している。	20,000,000
	投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	1,210,000,000
基本財産合計				1,260,057,000
特定資産	公益目的事業積立預金	普通預金 中国銀行/奉還町支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	17,000,000
	公益目的事業積立預金	普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	4,300,000
その他固定資産	什器備品	PC一式	共有財産であり、減価償却費の95%を事業の費用とし、残り5%は管理費の費用として使用している。	1
固定資産合計				1,281,357,001
資産合計				1,289,171,912
1. 流動負債				
	未払金	株式会社357に対する未払額	令和5年度ホームページ更新代未払い分として	91,300
流動負債合計				91,300
負債合計				91,300
正味財産				1,289,080,612